

都道府県名	病床確保計画（一般フェーズ）											病床確保計画（緊急フェーズ）（※2）																				
	フェーズ1		フェーズ2			フェーズ3			フェーズ4			フェーズ5		フェーズ6			緊急フェーズⅠ			緊急フェーズⅡ			緊急フェーズⅢ									
	即応病床 (計画) 数	うち重症者 向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け	移行基準	即応病床 (計画) 数	うち重症 者向け			
	うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分		うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分	うち臨時の医 療施設等分
27 大阪府 (※5)	1,700	150	重症：およそ90人以上（フェーズ1の病床数150床の60%） 軽症中等症：およそ620人以上（フェーズ1の病床数1,550床病床数の40%）	2,230	230	重症：およそ161人以上（フェーズ2の病床数230床の70%） 軽症中等症：およそ800人以上（フェーズ2の病床数2,000床の40%）	2,660	310	重症：およそ217人以上（フェーズ3の病床数310床の70%） 軽症中等症：およそ940人以上（フェーズ3の病床数2,350床の40%）	3,360	410	重症：およそ287人以上（フェーズ4の病床数410床の70%） 軽症中等症： フェーズ5の緊急避難的確保病床を除く3,650床運用要請：およそ1,475人以上（フェーズ4の病床数2,950床の50%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,190人以上（フェーズ5の病床数3,650床の60%）	4,930	580				重症：およそ287人以上（フェーズ4の病床数410床の70%） 軽症中等症： フェーズ5の緊急避難的確保病床を除く3,650床運用要請：およそ1,475人以上（フェーズ4の病床数2,950床の50%） 緊急避難的確保病床運用要請：およそ2,190人以上（フェーズ5の病床数3,650床の60%）	4,930	580												
28 兵庫県	800	40	病床利用率10%以上	1,000	70	病床利用率30%以上	1,200	100	病床利用率50%以上	1,400	120	感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,712	142				感染状況等を踏まえ総合的に判断	1,712	142												
29 奈良県	今後の感染 状況を踏ま えて、決定	今後の感染 状況を踏ま えて、決定	上り：病床使用率50%を1つの目安として、感染状況を踏まえて決定 下り：感染状況を踏まえて、今後検討	314	25	下り：感染状況を踏まえて、今後検討	566	36										感染者が増え、救急搬送の受入先が見つからないような状況が発生した時	566	36												
30 和歌山県	176	16	国内外の状況を総合的に判断	346	17	基準日（週当たり新規感染者数630人/10万人）等、総合的に判断	540	26	基準日（週当たり新規感染者数1170人/10万人）等、総合的に判断	636	26						基準日（週当たり新規感染者数1170人/10万人）等、総合的に判断	636	26													
31 鳥取県	144	19	入院患者数がフェーズ1の即応病床数の4割に達する日	239	30	入院患者数がフェーズ2の即応病床数の4割に達する日	351	47										感染状況を総合的に判断して対応	351	47												
32 島根県	140	5	入院患者総数が30人となった日若しくは重症者が3人となった日	167	10	入院患者総数が50人となった日	223	16	入院患者総数が100人となった日	279	25	入院患者総数が100人を超えフェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	387	28				入院患者総数が100人を超え一般フェーズ4に入ってもまだ、大規模なクラスターの発生等、患者の増加が見込まれ、総合的な観点から病床確保が必要と判断した日	387	28												
33 岡山県	139	12	直近1週間における新規感染者数が10万人当たり2.5人を超えたとき	205	21	稼働病床が100床を超えたとき	329	33	稼働病床が200床を超えたとき	606	67							稼働病床が200床を超えたとき	606	67												
34 広島県	363	26	新規感染者が継続的に発生	416	26	直近7日間の10万人当たり新規感染者数4人以上	484	33	直近7日間の10万人当たり新規感染者数15人以上	545	39							直近7日間の10万人当たり新規感染者数25人以上	806	50	直近7日間の10万人当たり新規感染者数50人以上	886	52									
35 山口県	136	8	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	280	12	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	527	23	陽性者数の増減状況等を総合的に判断	680	47							陽性者数の増減状況等を総合的に判断	780	47												
36 徳島県	128	6	入院患者数が20人となった日	152	6	入院患者数が70人となった日	185	16	入院患者数が120人となった日	254	25	入院患者数が180人となった日	286	25				入院患者数が180人となった日	286	25												
37 香川県	147	12	確保病床使用率が20%を超える段階	193	16	確保病床使用率が35%を超える段階	230	26	確保病床使用率が50%を超える段階	314	29							確保病床使用率が80%を超える段階	341	29												
38 愛媛県	317	5	①週当たり新規陽性者数34人（2.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の10%（48人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	356	9	①週当たり新規陽性者数101人（7.5人/10万人）に到達した場合 ②入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の20%（95人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	472	21										入院患者数が一般フェーズ最大確保病床の50%（236人）に到達した場合 ※陽性者の増加傾向等の状況を踏まえ、総合的に判断する。	520	26												
39 高知県	112	16	フェーズ1の病床数の10%が利用された段階	166	16	フェーズ2の病床数の20%が利用された段階	214	16	フェーズ3の病床数の35%が利用された段階	245	24	フェーズ4の病床数の45%が利用された段階	333	24				フェーズ5の病床数の60%が利用された段階	381	24												
40 福岡県	380	86	入院患者数100人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	568	108	入院患者数160人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	890	131	入院患者数240人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	1,359	206	入院患者数660人以上 ※入院患者数に加え、感染状況や医療のひっ迫度、緊急事態措置等の実施状況等を踏まえて総合的に判断。	2,049	231					2,049	231												
41 佐賀県	146	3	入院患者数が25人となったとき	224	5	入院患者数が50人となったとき	415	14	入院患者数が90人となったとき	564	40	入院患者数が130人となったとき	584	48				入院患者数が130人となったとき	584	48												
42 長崎県	133	11	フェーズ1の即応病床の3分の1以上を使用した段階で、総合的に判断	201	16	フェーズ2の即応病床の3分の1以上を使用した段階で、総合的に判断	363	16	フェーズ3の即応病床の3分の1以上を使用した段階で、総合的に判断	511	30							フェーズ4の即応病床の3分の1以上を使用した段階で、総合的に判断	620	30	フェーズ4の即応病床の3分の1以上を使用した段階で、総合的に判断	681	30									
43 熊本県	686	51	以下のいずれかに該当した場合 ①即応病床使用率が25%を上回る状況が続く場合 ②その他、高齢者施設でのクラスター発生等により体制移行が必要となる場合	810	54													即応+準備病床使用率が60%を上回る状況が続く場合	950	59	即応+準備病床+緊急時確保病床使用率が70%を上回る状況が続く場合	1,086	66									
44 大分県	278	34	・重症者用病床使用率10%以上・病床使用率10%以上・感染経路不明者割合30%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	288	34	・重症者用病床使用率20%以上・病床使用率20%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	435	42	・重症者用病床使用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	559	43							・重症者用病床使用率50%以上・病床使用率50%以上・感染経路不明者割合50%以上になったとき（他の各指標の状況を踏まえ、総合的に判断）	559	43												
45 宮崎県	283	13	新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	382	17													新規感染者や入院患者の状況等を踏まえ、総合的に判断	441	17												
46 鹿児島県	45	3	フェーズ1の即応病床に対する3日間の病床使用率が30%以上に達した場合	301	6	フェーズ2の即応病床に対する3日間の病床使用率が40%以上に達した場合	408	11	フェーズ3の即応病床に対する3日間の病床使用率が50%以上に達した場合	506	25							フェーズ4の病床使用率が60%以上に達した場合	659	29	緊急フェーズ1の病床使用率が70%以上に達した場合	725	31									
47 沖縄県	119	12	入院患者が10人を超えたとき	181	18	入院患者が23人を超えたとき	308	29	入院患者が150人を超えたとき	514	40	入院患者が200人を超えたとき	670	49				入院患者が500人を超えたとき	794	54	入院患者が630人を超えたとき	874	54	入院患者が720人を超えたとき	951	61						
全国計 (※3)	病床確保計画 (一般フェーズ)		確保病床(計画)数	46,542	確保病床(計画)数 (うち臨時の医療施設等分)		1,632	確保病床(計画)数 (うち重症者向け)		4,008	確保病床(計画)数 (うち重症者向け) (うち臨時の医療施設等分)		0	病床確保計画 (緊急フェーズ)		最大確保病床(計画)数	51,308	最大確保病床(計画)数 (うち臨時の医療施設等分)		2,288	最大確保病床(計画)数 (うち重症者向け)		4,163	最大確保病床(計画)数 (うち重症者向け) (うち臨時の医療施設等分)		0						

(※1) 茨城県は病床確保計画の最終フェーズを「フェーズ7」としている。フェーズ7への移行基準、フェーズ7における「即応病床(計画)数」は下記の通り。

フェーズ7への移行基準	フェーズ7における即応病床(計画)数	うち臨時の医療施設等分	うち重症者向け	うち臨時の医療施設等分
引上げ時：入院患者が引上げ後の50%が見込まれる場合	700	0	60	0
引下げ時：入院患者がフェーズ5の50%を目安に縮小				

(※2) 病床確保計画(緊急フェーズ)は、感染者急増時の緊急な患者対応方針に基づく計画を指す。

(※3) 「即応病床(計画)数」、「即応病床(計画)数(うち臨時の医療施設等分)」、「うち重症者向け即応病床(計画)数」、「うち重症者向け即応病床(計画)数(うち臨時の医療施設等分)」の全国計については、各自治体の一般フェーズ・緊急フェーズにおける各最終フェーズにおける数を合計している。

(※4) 東京都の重症者向け病床数はオミクロン株の特性を踏まえ東京都基準(特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床及び人工呼吸器又は体外式心肺補助(ECMO)による管理が必要な患者用の病床又はハイフローセラピーを実施する患者用の病床)により集計したものであり、国基準(集中治療室(ICU)・ハイケアユニット(HCU)等での管理、人工呼吸器又は体外式心肺補助(ECMO)による管理が必要な患者用の病床)により集計した東京都の重症者向け病床数は一般フェーズにおける最終フェーズ及び緊急フェーズにおける最終フェーズにおいて1,114床となる(その場合、一般フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,493床、緊急フェーズにおける最終フェーズの重症者向け確保病床数は全国合計で4,648床となる)。

(※5) 大阪府の重症者向け病床数は大阪府基準により集計したもので、またフェーズ5、及び緊急フェーズ1の即応病床(計画)数は、重症病床がフェーズ3以下である想定で軽症中等症病床に積み増した病床を含むため、最大運用可能病床数とは異なる。